

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズ倶楽部		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		～ 令和 8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行っている 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	・月に一度の会議の際に、翌月の活動について話し合いをしている。 ・行事や外出活動の工夫をしている。 ・体を動かす動的な活動や、制作活動などの静的な活動を組み合わせている。	・利用者の年齢が上がってきているので、年齢に見合った活動を提供できるように考えていく。 ・祝日や土曜日等に外出活動を行うことで、利用者からの好評を得ている。引き続き、外出活動を通して社会経験を積めるよう、立案していく。
2	個別支援計画を作成する際に、子どもやご家族の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けている	・日々の子どもの様子を振り返り、目標設定やサポートすべき事柄を考えるようにしている。また、保護者からのニーズ調査や日々の様子の聞き取りも参考にしている。	・半年ごとのモニタリング、計画更新を行う、その都度保護者から聞き取りを行うことで、細やかな対応ができるようにしていく。
3	定期的に会報等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	・毎月のおたよりや、インスタグラムへの投稿などで活動内容を知らせるようにし、また、公式LINEを連絡ツールとして活用している。	・日頃の活動の様子など伝えられるように、こまめに更新できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が関わる機会を提供できているか	・年1回開催だった。 ・開催の日時が集まりにくかった。	・年に複数回保護者会の開催する。 ・集まりやすい日時の設定、内容の充実を図る。
2	活動の中で地域との交流を行う	・町内会主催のイベントに参加することはあるが、地域住民を招いたり、地域の小学校・放課後児童クラブ等との交流は行っていない。	・地域住民を招いた活動を企画することで、地域住民への理解を深める機会が作れると思われる。また、地域のイベントには可能な限り積極的に参加するようにしていく。
3	・非常時のマニュアル周知、安全計画の周知	・非常時のマニュアルや安全計画の周知不足	・避難訓練や非常時の対応は実施しているが、周知が不十分かと思われる。玄関スペースへの掲示による周知の徹底や、改めての説明の機会を作るなどしていく。